



2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月14日

上場会社名 株式会社Casa 上場取引所 東
コード番号 7196 URL <https://www.casa-inc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 正剛
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 夏川 賢淑 TEL 03-5339-1143
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の連結業績（2024年2月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	2,995	9.9	△391	—	△333	—	△236	—
2024年1月期第1四半期	2,724	6.6	△144	—	△122	—	△107	—

(注) 包括利益 2025年1月期第1四半期 △218百万円 (—%) 2024年1月期第1四半期 △123百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	△23.50	—
2024年1月期第1四半期	△10.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第1四半期	15,092	6,714	44.5
2024年1月期	14,776	7,235	48.9

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 6,712百万円 2024年1月期 7,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年1月期	—	—	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,947	7.8	123	43.3	230	69.3	112	289.9	11.14
通期	12,081	7.6	759	△3.5	935	△3.2	552	△8.7	54.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	11,350,500株	2024年1月期	11,350,500株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	1,294,824株	2024年1月期	1,294,824株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	10,055,676株	2024年1月期1Q	10,005,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価の高騰や、政府の各種施策による雇用の確保と賃金の改善もあり、緩やかな回復が続いております。しかし、為替変動による物価上昇、円安の継続や金融の引き締めなど、国内の景気を下押しするリスクもあることから、依然として先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの関連する不動産賃貸市場におきましては、2024年2月から2024年4月までの賃貸住宅の新設住宅着工戸数は前年同期間と比べ+2.7%となっております。

このような状況下で、当社グループは、「誰もが安心して暮らせる社会」の理念のもと、不動産賃貸市場においてサービス展開を行い、売上拡大を目指しております。Casaは、不動産管理会社に向けて家賃保証や孤独死保険、家財保険、入居者管理アプリなどのサービスを提供することで業務の効率化を支援しております。COMPASSは、自主管理オーナーを対象にIT技術を活用した入居者対応サービスなどの提供を進めており、オーナーの利用が累計8,868人（前年同期比36.7%増）に達しております。GoldKeyは、入居者管理アプリの開発を手掛けており、CasaおよびCOMPASSのシステム開発をサポートしております。また、入居者管理アプリを通じて、不動産管理会社および自主管理オーナー向けに業務効率の課題を解決するビジネスを展開し、収益の拡大を目指しております。これらのサービスを通じて、不動産管理会社及び自主管理オーナーの業務効率向上を図り収益の拡大を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、既存代理店の利用拡大や新規代理店の獲得、営業人員の増強、前連結会計年度に実施しました営業エリアの拡大などにより新規契約件数は、43,581件（前年同期比5.5%増）となりました。

新規契約件数のうち、住居用保証サービスは41,082件（前年同期比4.9%増）、事業用保証サービスは2,499件（前年同期比16.6%増）と、いずれも拡大しております。事業用保証サービスの拡大は、既存代理店への事業用保証の利用促進や事業用物件を専門とする仲介会社との連携が効果を上げております。

2023年からGoldKeyと共同開発した入居者管理アプリ「Roomコネクト」の販売を開始いたしました。このアプリは、不動産管理業務の負担を軽減することを目的としておりますが、一部の代理店はデジタル化に対して保守的であるため、導入に対する消極的な反応が明らかになりました。そのため、テストマーケティングを実施し、緊急性の高い現地対応業務にニーズがあることがわかりました。現地対応の負荷軽減を目的とした提案に変更することで代理店への販売強化を進めてまいります。一方で自主管理オーナーに対しては、アプリのサービスに加え、入居者対応の実務をパッケージとして提供することで導入が進んでおります。その結果、管理業務の効率化とサービス品質の向上を実現し、オーナーの利便性を高めることができました。

今後はさらに不動産管理会社及び自主管理オーナーの賃貸管理業務に関するソリューション提案やサービスの拡充を図り、導入の拡大を図ってまいります。

売上原価においては、紹介手数料は、新規契約の増加及び滞納発生率を軽減させることを目的とした金融審査商品を主力に切り替えたことで424,471千円（前年同期比13.2%増）となりました。貸倒引当金繰入額は、新基幹システムの稼働により一時的に発生した不具合により、入金案内業務を一時的に控えたことにより1,188,733千円（前年同期比36.1%増）となりました。現在の入金案内業務は通常の状態に戻っており、オートコールやSMSによる自動化を拡大し、立替金額の圧縮に注力しております。訴訟・処分費用は、前連結会計年度から行っております長期案件の早期解決に取り組むことで266,169千円（前年同期比2.8%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、新基幹システムの稼働に伴う租税公課や減価償却費などの発生、営業や債権管理の人員を積極的に採用したことによる人材採用費の増加などにより1,493,321千円（前年同期比11.3%増）となりました。

当社では、養育費保証を通じて、「こどもの未来を守る」ことを目的とした、ひとり親家庭の支援に重点を置いております。セミナーや交流会を開催し、参加者同士の交流や情報共有の場を提供するだけでなく、今後は、職業紹介事業を開始し、ひとり親家庭の経済的な自立支援にも寄与してまいります。また、現在は国土交通省による居住支援法人への申請を行っております。これは家賃債務保証や住宅相談、見守りなど業務に対する助成金制度です。これらの取り組みを通じて、ひとり親家庭の方々の方がより安心して生活できる社会の実現に貢献しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,995,339千円（前年同期比9.9%増）、営業損失は391,724千円（前年同期は営業損失144,183千円）、経常損失は333,951千円（前年同期は経常損失122,649千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は236,339千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失107,998千円）となりました。

なお、販売費及び一般管理費にのれん償却額75,798千円を計上しております。

※当社グループの報告セグメントは家賃債務保証事業のみであり、他のセグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとに記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて315,724千円増加し、15,092,611千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて92,493千円増加し、7,737,524千円となりました。これは主に、現金及び預金が759,624千円減少、貸倒引当金が558,126千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が372,754千円、未収入金が613,025千円、求償債権が398,093千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて223,230千円増加し、7,355,086千円となりました。これは主に、繰延税金資産が398,995千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて836,183千円増加し、8,377,861千円となりました。

これは主に、前受金が526,488千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて520,459千円減少し、6,714,750千円となりました。

これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により236,339千円、剰余金の配当により301,670千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年3月6日に公表いたしました2025年1月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,705,890	2,946,266
売掛金及び契約資産	1,520,958	1,893,712
求償債権	4,528,423	4,926,516
未収入金	863,457	1,476,482
その他	194,750	221,121
貸倒引当金	△3,168,449	△3,726,575
流動資産合計	7,645,031	7,737,524
固定資産		
有形固定資産	39,652	36,880
無形固定資産		
のれん	2,917,123	2,841,324
その他	1,173,216	1,052,123
無形固定資産合計	4,090,339	3,893,448
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,618,285	3,017,281
その他	385,131	409,029
貸倒引当金	△1,552	△1,552
投資その他の資産合計	3,001,864	3,424,758
固定資産合計	7,131,855	7,355,086
資産合計	14,776,887	15,092,611
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,612	54,587
1年内返済予定の長期借入金	21,140	20,646
未払法人税等	412,790	329,502
前受金	5,166,808	5,693,297
賞与引当金	98,250	99,110
債務保証損失引当金	153,141	155,032
その他	1,462,297	1,858,911
流動負債合計	7,370,039	8,211,087
固定負債		
長期借入金	171,368	166,504
その他	270	270
固定負債合計	171,638	166,774
負債合計	7,541,677	8,377,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,602,887	1,602,887
資本剰余金	1,602,887	1,602,887
利益剰余金	5,455,994	4,917,984
自己株式	△1,439,275	△1,439,275
株主資本合計	7,222,494	6,684,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,413	27,963
その他の包括利益累計額合計	10,413	27,963
新株予約権	2,302	2,302
純資産合計	7,235,209	6,714,750
負債純資産合計	14,776,887	15,092,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	2,724,644	2,995,339
売上原価	1,526,752	1,893,742
売上総利益	1,197,892	1,101,596
販売費及び一般管理費	1,342,075	1,493,321
営業損失(△)	△144,183	△391,724
営業外収益		
受取利息	22	12
償却債権取立益	16,243	58,297
補助金収入	2,432	—
その他	3,534	779
営業外収益合計	22,233	59,089
営業外費用		
支払利息	89	605
支払手数料	609	711
営業外費用合計	698	1,317
経常損失(△)	△122,649	△333,951
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,100
特別利益合計	—	2,100
特別損失		
固定資産除却損	—	2,666
特別損失合計	—	2,666
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,649	△334,518
法人税、住民税及び事業税	392,029	308,562
法人税等調整額	△406,680	△406,741
法人税等合計	△14,650	△98,178
四半期純損失(△)	△107,998	△236,339
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△107,998	△236,339

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
四半期純損失(△)	△107,998	△236,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,486	17,550
その他の包括利益合計	△15,486	17,550
四半期包括利益	△123,484	△218,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,484	△218,789

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。